

[概要]

インジウム・スズ酸化物 (Indium Tin Oxide 略称「ITO」)は、パソコン、テレビ、携帯情報端末等の薄型ディスプレイ、タッチパネル、太陽電池等の透明電極原料に使用される物質で、低濃度の吸入暴露により、発がんを含む肺疾患が動物実験により確認された。

このため、2010年12月22日に基安発1222第2号に基づき作業環境測定が義務化され、6か月以内毎に1回、空気中のITO濃度の測定を実施し、その結果に基づき必要な措置を講じなければならない。

当社では、許容される濃度である0.0003mg/m³以下の分析が可能である。

[対象物質と主な用途]

1. 対象物質

インジウム及びインジウム化合物のうち、ITO の製造、使用、回収等の過程で製造、又は取り扱う、ITO、金属インジウム、水酸化インジウム、酸化インジウム、塩化インジウム等であって吸入性粉じんであるもの。

2. 主な用途

物質名	用途
インジウム・スズ酸化物	パソコン、テレビ、携帯情報端末等の薄型ディスプレイ、タッチパネル、太陽電池等の透明電極原料
インジウム	銀ろう、銀合金接点、ハンダ、低融点合金、液晶セル電極用、歯科用合金、防食アルミニウム、テレビカメラ、ゲルマニウム・トランジスター、光通信、太陽熱発電、電子部品、軸受金属、リン化インジウム結晶の原料
酸化インジウム	ITO 原料
三塩化インジウム	ITO 原料
水素化インジウム	透明電極材料用原料
その他のインジウム化合物	酸化インジウム製造用原料、硝酸インジウム、硫酸インジウム用原料、電池電極材料

[測定方法]



[測定結果に基づく措置]

